

公益社団法人松阪青年会議所  
2017年度 基本運動方針

青少年開発委員会

委員長 清水 智成

《委員会スローガン》

夢と希望

《基本運動方針》

我々、公益社団法人松阪青年会議所は「明るい豊かな社会の創造」という理念のもと63年の歩みの中、様々な活動を行ってきました。「ひと」の為、「まち」の為に熱い情熱を遺憾なく発揮した活動は今日に至っております。そして、この情熱は次世代を担う青少年にも発信し続け継承していかなければなりません。

時代は変わっても親が子をおもう気持ちは変わらず、子どもには夢や希望を持って育ててほしいと願っています。それは、子ども達が育っていく上で大きな支えとなり、そのおもいが成長に繋がると考えます。我々、大人が子どもを取り巻く様々な環境をより良くすることこそ、子ども達が成長する為に必要な礎となります。

本年度、青少年開発委員会では若い世代が夢と希望を抱ける環境をつくる為に、我々、大人がすべきことを考える例会を開催し、第44回J.C青年の船「とうかい号」に関わる全ての事業を担当させていただきます。本年度44回目を迎えるJ.C青年の船「とうかい号」では乗船前に不安を取り除き、乗船に対する意欲を上げ、下船後も一般乗船者が事業所や地域のリーダーとして益々活躍して頂くことが輩出企業様から貴重な人財をお預かりした我々の責務であり使命であると心に刻み取り組んで参ります。

本年度は三重ブロック協議会での主管LOMの受ける責任の重さを理解し、委員会メンバー一同精一杯支援させて頂き、会員拡大にも全力で取り組みたいと考えます。

最後になりましたが、青少年を育成することが松阪の未来に大きな変化を生むものと考え1年間精一杯事業に取り組みさせていただきますので、皆様のご理解、ご協力の程、宜しく申し上げます。